

若手人材育成部会・研究支援報告書

氏名	佐藤 明美
所属大学名	大阪大学
職位または学年(学生の場合)	連合小児発達学研究科 後期博士課程3年
申請内容(渡航先、参加学会、ワークショップ等)	INTERNATIONAL TUBEROUS SCLEROSIS COMPLEX RESEARCH CONFERENCE 2021
実施年月日	2021年6月17日-19日
内容報告	<p>2021年6月17日-19日にイギリスで開催されたInternational Tuberos Sclerocis Complex Resarch Conference 2021にweb参加をしてe-poster発表を行った。</p> <p>結節性硬化症(TSC)に関する研究に着手することが決まった2018年6月、後期博士課程2年の初夏にトロントで開催されたITSCRC2018に参加した。世界中の結節性硬化症の基礎・臨床研究者、患者本人、家族が集まった温かみのある素晴らしい学会であった。それ以降、2020年にイギリスで開催されるITSCRC2020で発表をすることを目標に研究に取り組んできた。COVID19の影響で、2020年開催予定が2021年web学会に延期・変更となったが、念願の学会で発表をすることができた。</p> <p>研究テーマ:「結節性硬化症関連精神神経症状(Tuberous Sclerosis Complex Associated Neuro-psychological Disorders;TAND)と辺縁系白質微細構造異常の関連」</p> <p>目的:TANDはQOLに影響を及ぼすためTSC患者と家族にとって重要であるが、関連のある特定の脳領域は不明である。本研究では拡散テンソル画像(DTI)を用いてTSC患者の白質微細構造解析を行い、TAND/不適応行動と関連する白質を辺縁系部を中心に同定し、TAND症状と脳白質微細構造異常との関連について明確にすることを目的とした。</p> <p>結果:Fornix, Stria Terminalis,Sagittal Stratumなどの辺縁系・内側側頭葉の白質微細構造異常とTAND/不適応行動に関連が見られた。また、TSCでASD合併有群はASD合併無し群に比べて有意にFornix白質FA値が上昇、MD値が低下していた。</p> <p>結論:TANDと辺縁系白質微細構造異常は関連しており、白質神経線維の</p>
備考	